

本資料は、米国アッヴィ社が 2026 年 5 月 21 日(米国時間)に発表したプレスリリースを日本語に抄訳し、2026 年 6 月 10 日(日本時間)、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料(英文)については、[こちら](#)をご覧ください。

なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

PRESS RELEASE

2026 年 6 月 10 日

アッヴィ、2026 年米国臨床腫瘍学会(ASCO)年次総会で、次世代オンコロジーパイプラインにおける幅広い分野での進展を示す新たなデータを発表

- 前立腺がん、小細胞肺がん、プラチナ製剤抵抗性卵巣がんおよび多発性骨髄腫に関する口頭発表をはじめ、新規 Top1i ADC および T 細胞エンゲージャープラットフォームのデータが、固形がんおよび血液がんにおける有望性を示唆

イリノイ州ノースシカゴ、2026 年 5 月 21 日(米国時間) –アッヴィ(NYSE: ABBV)は本日、シカゴで開催される 2026 年米国臨床腫瘍学会(ASCO)年次総会において、同社のオンコロジーパイプラインの厚みと広がり示す新たなデータを発表すると明らかにしました。これらのデータは、固形がんおよび血液がんの適応を対象とする複数の口頭発表およびポスター発表を通じて共有される予定です。

これらの発表は、細胞の内外からがんを攻撃するというアッヴィの継続的な取り組みを示すものであり、トポイソメラーゼ I 阻害薬(Top1i)ベースの抗体薬物複合体(ADC)および T 細胞エンゲージャー(TCE)ポートフォリオを含む、拡大を続ける ADC プラットフォームへの継続的な投資によって支えられています。

アッヴィの Vice President 兼 Therapeutic Area Head, Oncology, Solid Tumor and Hematology である Daejin Abidoye, MD は次のように述べています。「当社のオンコロジーパイプラインは、複数のモダリティを網羅し、差別化された治療法から成る多角的なポートフォリオを通じ、複雑かつ不均一ながんの生物学的特性に対応することを明確に意図して設計されています。当社が ASCO で発表するデータは、この戦略の強みを示すものであり、固形がんを対象とする ADC プログラムの継続的な進展に加え、多発性骨髄腫における次世代 TCE として開発中の etentamig をはじめとする免疫に基づくアプ

ローチの有効性を裏付けるものです。これらの結果は、患者さんの重要なアンメットニーズに応えることを目指し、独自の科学的アプローチを用いたアセットの開発を推進するという当社のコミットメントを明確に示すものです」

発表される主要な結果は以下のとおりです：

アツヴィの Top1i ADC による固形がん全般のデータ：

- **転移性去勢抵抗性前立腺がん(mCRPC)：**多くの前治療歴を有する mCRPC 患者さんを対象に、PSMA/STEAP1 を標的とするファースト・イン・クラスの二重特異性 ADC 候補である **ABBV-969A** を評価する第 1 相ヒト初回投与試験 (NCT06318273) では、RECIST (Response Evaluation Criteria in Solid Tumors、固形がんにおける効果判定規準) 評価可能な病変を有する患者さん 29 名において、確認された客観的奏効率(ORR)は 45%でした。有効な用量域では、患者さんの 67%が前立腺特異抗原値の 50%以上の低下(PSA50)を達成し、28%が PSA90 を達成しました。また、前治療を多く受けた mCRPC 患者さんにおける安全性プロファイルは管理可能なものでした¹。年次総会では追加の結果も発表する予定です。
- **小細胞肺がん(SCLC)：** **ABBV-706 (SEZ6 を標的とする ADC)** の第 1 相試験データ (NCT05599984)によると、単剤投与コホート(n=17)において、2 次治療として、第 3 相試験の推奨用量である 1.8 mg/kg で **ABBV-706** の投与を受けた SCLC 患者さんにおける ORR は 82%でした。これは、依然として予後不良な SCLC において有望なデータです。安全性プロファイルは、これまでに報告されたデータと同等でした²。年次総会では追加の結果および最新データも発表する予定です。これらの結果は、SCLC を対象とした **ABBV-706** の継続的な評価を支持するものです。
- **プラチナ製剤抵抗性卵巣がん(PROC)および頭頸部扁平上皮がん(HNSCC)：** **c-Met** を標的とする次世代 ADC である **telisotuzumab adizutecan (Temab-A)** の第 1 相バスケット試験のデータでは、バイオマーカー非選択の PROC 患者さん(NCT06084481)および HNSCC 患者さん(NCT06084481)において、**Temab-A** 単剤療法による抗腫瘍活性が示されました^{3,4}。

- 年次総会で発表予定の c-Met 選択を行った患者さんにおける結果は、この集団における Temab-A の可能性を示すものです^{3,4}。
- これらの新規データは、これまでに発表された肺がん、大腸がんおよび胃がん、ならびに MET 遺伝子増幅および c-Met 過剰発現を伴う患者さんを含む、拡大し続ける固形がんおよび患者集団における Temab-A の可能性を支持しています。
- **再発/難治性多発性骨髄腫(R/R MM)：次世代 B 細胞成熟抗原(BCMA) × CD3 T 細胞エンゲージャー**として開発中である **etentamig** の第 1b 相試験(NCT05650632)からは、前治療を多く受け、BCMA を標的とする治療薬の投与を受けたことがある R/R MM 患者コホートを対象とした単剤投与のデータを、年次総会で発表する予定です。
 - etentamig は、BCMA および CD3 二重特異性抗体 T 細胞エンゲージャーとして開発中であり、BCMA に対する高い結合活性を可能にする BCMA 二価結合ドメインと、低親和性の CD3 結合ドメインから構成されます。
 - データでは、BCMA 標的の CAR-T による前治療後、etentamig 投与に移行した患者さん(n = 11)において、ORR は 64%であることが認められました。また、前治療で BCMA 標的療法を受けた評価可能な患者さんのうち、67%(2/3)で微小残存病変(MRD)陰性が確認されました。奏効期間の中央値は 13 カ月でした。新たな安全性シグナルは認められませんでした。本コホートでは段階的漸増投与を実施しませんでした。患者さんの 57%で報告されたサイトカイン放出症候群(CRS)はいずれもグレード 1 または 2 でした⁵。年次総会では追加の結果を発表する予定です。

アッヴィの臨床試験に関する詳細は、<https://www.clinicaltrials.gov/>でご覧いただけます。

主要な発表詳細は以下をご参照ください。2026 年 ASCO 年次総会の全抄録は[こちら](#)からご覧いただけます。

| 演題 | 日時 | セッション | 抄録番号 |
|---|--|--|---------|
| <p>Etentamig in patients (pts) with relapsed/refractory multiple myeloma (RRMM) with prior exposure to B-cell maturation antigen (BCMA)-targeted therapy.</p> <p>[B細胞成熟抗原(BCMA)標的療法による前治療歴を有する再発/難治性多発性骨髄腫(RRMM)患者さんを対象とした etentamig の検討]</p> | <p>5月29日(金) 5:09~5:21 PM CDT (米国中部夏時間)</p> | <p>口頭発表</p> <p>口頭抄録セッション</p> <p>Hematologic Malignancies - Plasma Cell Dyscrasia (血液悪性腫瘍 - 形質細胞異常増殖症)</p> | 7508 |
| <p>Phase 1 basket study of telisotuzumab adizutecan (Temab-A, ABBV-400), a c-Met protein-targeting antibody-drug conjugate: Results from patients with platinum-resistant ovarian/primary epithelial/fallopian tube cancer (PROC). [c-Met タンパク質標的抗体薬物複合体 telisotuzumab adizutecan (Temab-A、ABBV-400)に関する第1相バスケット試験: プラチナ製剤抵抗性卵巣がん/原発性腹膜がん/卵管がん (PROC) 患者さんにおける結果]</p> | <p>5月30日(土) 8:42~8:48 AM CDT</p> | <p>口頭抄録セッション</p> <p>Gynecologic Cancer (婦人科がん)</p> | 5514 |
| <p>A phase 2 randomized study comparing telisotuzumab adizutecan monotherapy with standard of care in patients with post-adjuvant circulating tumor DNA-positive colorectal cancer. (術後補助化学療法後に循環腫瘍 DNA陽性の大腸がん患者を対象に、telisotuzumab adizutecan 単剤療法を</p> | <p>5月30日(土) 9:00 AM~12:00 PM CDT</p> | <p>ポスターボード番号: 447a</p> <p>ポスターセッション</p> <p>Gastrointestinal Cancer - Colorectal and Anal (消化器がん - 大腸・肛門)</p> | TPS3688 |

| | | | |
|---|--|--|---------|
| 標準治療と比較する、第2相、無作為化試験) | | | |
| <p> A Phase 2 study of telisotuzumab adizutecan (ABBV-400; Temab-A) in patients with advanced solid tumors harboring <i>MET</i> amplification. [<i>MET</i> 増幅を有する進行固形がん患者を対象とした telisotuzumab adizutecan (ABBV-400、Temab-A) の第2相試験] </p> | <p> 5月30日(土) 1:30~4:30 PM CDT </p> | <p> ポスターボード番号:293a ポスターセッション Developmental Therapeutics - Molecularly Targeted Agents and Tumor Biology (開発治療学 - 分子標的薬および腫瘍生物学) </p> | TPS3157 |
| <p> Phase 1 basket study of telisotuzumab adizutecan (ABBV-400, Temab-A), a c-Met protein-targeting antibody-drug conjugate: Results from patients with head and neck squamous cell carcinoma (HNSCC). [c-Met タンパク質を標的とする抗体薬物複合体、telisotuzumab adizutecan (Temab-A、ABBV-400)に関する第1相バスケット試験:頭頸部扁平上皮がん (HNSCC) 患者における結果] </p> | <p> 5月30日(土) 1:30~4:30 PM CDT </p> | <p> ポスターボード番号:484 ポスターセッション Head and Neck Cancer(頭頸部がん) </p> | 6027 |
| <p> Telisotuzumab adizutecan (Temab-A) plus osimertinib (osi) as 1L treatment for unresectable/metastatic NSCLC. [切除不能/転移性 NSCLC に対する1次治療としての、telisotuzumab </p> | <p> 5月31日(日) 9:00 AM~12:00 PM CDT </p> | <p> ポスターボード番号:451a ポスターセッション Lung Cancer - Non-Small Cell Metastatic(肺がん - </p> | TPS8663 |

| | | | |
|---|--|--|---------|
| adizutecan (Temab-A) とオシメルチニブ併用療法] | | 転移性非小細胞肺がん) | |
| Impact of MET amplification (amp) on telisotuzumab vedotin (Teliso-V) efficacy and safety in 2L+ non-squamous (NSQ) EGFR wild-type (WT) NSCLC with c-Met protein overexpression (OE). [c-Met を過剰発現する非扁平上皮 EGFR 野生型 NSCLC の 2 次治療以降における、telisotuzumab vedotin (Teliso-V) の有効性および安全性に対する MET 増幅の影響] | 5 月 31 日 (日) 9:00 AM ~ 12:00 PM CDT | ポスターボード番号: 314 ポスターセッション Lung Cancer - Non-Small Cell Metastatic (肺がん – 転移性非小細胞肺がん) | 8524 |
| AndroMETa-Lung-713: A phase 2/3 study of telisotuzumab adizutecan (ABBV-400, Temab-A) vs standard of care (SOC) in patients with epidermal growth factor receptor (EGFR)-mutated non-small cell lung cancer (NSCLC). [AndroMETa-Lung-713: 上皮増殖因子受容体 (EGFR) 変異陽性の非小細胞肺がん (NSCLC) 患者を対象に telisotuzumab adizutecan (ABBV-400, Temab-A) と標準治療を比較する第 2/3 相試験] | 5 月 31 日 (日) 9:00 AM ~ 12:00 PM CDT | ポスターボード番号: 450a ポスターセッション Lung Cancer - Non-Small Cell Metastatic (肺がん – 転移性非小細胞肺がん) | TPS8661 |
| SEZanne: A phase 2 randomized, open-label, multicenter study to evaluate the optimal dose, safety, and efficacy of ABBV-706 in combination | 5 月 31 日 (日) | ポスターボード番号: 603a ポスターセッション | TPS8135 |

| | | | |
|--|---|--|----------------|
| <p>with atezolizumab (atezo) versus standard of care (SOC) in patients (pts) with previously untreated extensive-stage (ES) small cell lung cancer (SCLC). [SEZanne: 未治療の進展型 (ES) 小細胞肺癌 (SCLC) 患者を対象に、ABBV-706 とアテゾリズマブの併用療法の至適用量、安全性および有効性を、標準治療との比較で評価する第 2 相、無作為化、非盲検、多施設共同試験]</p> | <p>9:00 AM~12:00 PM CDT</p> | <p>Lung Cancer - Non-Small Cell Local-Regional/Small Cell/Other Thoracic Cancers (肺癌 - 非小細胞肺癌の限局・領域進行期 / 小細胞肺癌 / その他の胸部がん)</p> | |
| <p>A phase 1, first-in-human (FIH) study evaluating the safety, pharmacokinetics, and efficacy of ABBV-969 in patients with metastatic castration-resistant prostate cancer (mCRPC). [転移性去勢抵抗性前立腺がん (mCRPC) 患者を対象に、ABBV-969 の安全性、薬物動態および有効性を評価する第 1 相ヒト初回投与試験]</p> | <p>5 月 31 日 (日) 4:42~4:48 PM CDT</p> | <p>口頭抄録セッション Genitourinary Cancer - Prostate, Testicular, and Penile (泌尿生殖器がん - 前立腺、精巣および陰茎)</p> | <p>5014</p> |
| <p>A single-arm, phase 2 study of neoadjuvant mirvetuximab soravtansine and carboplatin for FRα-expressing advanced-stage serous epithelial ovarian, fallopian tube, or primary peritoneal cancer (M25-231; NCT06890338; GOG-3115). [FRα を発現している進行漿液性上皮性卵巣がん、卵管がん、原発性腹膜がんの患者を対象に、術前化学療法としてのカルボプラチン併用 mirvetuximab soravtansine 療法を検討する単一群第</p> | <p>6 月 1 日 (月) 9:00 AM~12:00 PM CDT</p> | <p>ポスターボード番号: 296b ポスターセッション Gynecologic Cancer (婦人科がん)</p> | <p>TPS5633</p> |

| | | | |
|--|---|--|--------|
| 2 相試験 (M25-231 ; NCT06890338 ; GOG-3115)] | | | |
| <p>ABBV-706 as monotherapy and in combination with budigalimab in patients with relapsed/refractory (R/R) small cell lung cancer (SCLC). [再発／難治性 (R/R) 小細胞肺癌 (SCLC) 患者を対象とした ABBV706 の単独投与および budigalimab 併用投与]</p> | <p>6 月 1 日 (月) 3:39~3:51 PM CDT</p> | <p>口頭発表 口頭抄録セッション Lung Cancer - Non-Small Cell Local - Regional/Small Cell/Other Thoracic Cancers (肺がん - 非小細胞: 局所・領域 / 小細胞 / その他の胸部がん)</p> | 8008 |
| <p>Phase 1, first-in-human (FIH) study evaluating safety and efficacy of ABBV-706: Results from patients with high-grade central nervous system (CNS) tumors. [ABBV-706 の安全性および有効性を評価する第 1 相ヒト初回投与試験: 高グレード中枢神経系 (CNS) 腫瘍患者における結果]</p> | <p>6 月 1 日 (月) 1:30~4:30 PM CDT</p> | <p>ポスターボード番号: 406 ポスターセッション Central Nervous System Tumors (中枢神経系腫瘍)</p> | 2041 |
| <p>A US-based, retrospective, observational study of biomarker testing patterns across lines of therapy in patients with metastatic colorectal cancer. (転移性大腸がん患者を対象に、治療ラインを通じたバイオマーカー検査の実施状況を評価した、米国における後ろ向き観察研究)</p> | N/A | <p>Publication Only (論文掲載のみ) Gastrointestinal Cancer – Colorectal and Anal (消化器がん- 結腸・直腸がんおよび肛門がん)</p> | e15526 |

| | | | |
|---|------------|--|---------------|
| <p>Timing of biomarker testing and associated clinical outcomes in ovarian cancer patients: A retrospective study. (卵巣がん患者におけるバイオマーカー検査実施時期と、関連する臨床転帰に関する後ろ向き研究)</p> | <p>N/A</p> | <p>Publication Only (論文掲載のみ) Gynecologic Cancer (婦人科がん)</p> | <p>e17574</p> |
| <p>Real-world (RW) characteristics and outcomes in platinum-resistant ovarian cancer (PROC) patients treated with mirvetuximab soravtansine (MIRV) monotherapy or single-agent chemotherapy (CTx). [mirvetuximab soravtansine (MIRV) 単剤療法または単剤化学療法を受けたプラチナ製剤抵抗性卵巣がん (PROC) 患者のリアルワールド特性および転帰]</p> | <p>N/A</p> | <p>Publication Only (論文掲載のみ) Gynecologic Cancer (婦人科がん)</p> | <p>e17606</p> |

telisotuzumab adizutecan (Temab-A)、etentamig、ABBV-969 および ABBV-706 は開発中の医薬品であり、世界中の規制当局から未だ承認されていません。これらの治験薬の安全性および有効性については、現在進行中の臨床試験において評価が行われています。

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製とソリューションの提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、精神・神経疾患、がん、さらに美容医療関連のアラガン・エステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。LinkedIn, Facebook, Instagram, X や YouTube でも情報を公開しています。

がん分野におけるアッヴィについて

アッヴィでは、治療が困難ながんと向き合う世界中の患者さんに対し、治療水準の向上と革新的な治療法の提供に尽力しています。当社は、血液がんおよび固形がんの幅広い領域において、開発中の治療法からなる多様なパイプラインを推進しています。私たちは、がん細胞の増殖を抑制する、またはその排除を可能にする標的治療薬の創出に注力しています。その実現に向けて、低分子医薬品、抗体薬物複合体(ADC)、免疫腫瘍学に基づく治療薬、二重特異性抗体、新規 CAR-T プラットフォームなど、さまざまな分子標的治療モダリティおよび生物学的アプローチを活用しています。専門性の高い経験豊富なチームが革新的なパートナーと協力し、画期的新薬となり得る治療薬の開発促進に努めています。

現在、当社の広範なオンコロジーポートフォリオには、血液がんおよび固形がんの幅広い領域を対象とする承認済み治療薬と開発中の治験薬が含まれています。世界で最も広く蔓延し、深刻な負担をもたらすがんの一部を対象に、複数の臨床試験において 35 件を超える開発中の医薬品を評価しています。人々の生活に大きな影響をもたらすべく取り組む中で、患者さんが当社のがん治療薬にアクセスできるよう、ソリューションの検討にも取り組んでいます。

詳細については、<http://www.abbvie.com/oncology> をご覧ください。

References:

1. Dorff T, Peer A, Sharma M, et al. A phase 1, first-in-human (FIH) study evaluating the safety, pharmacokinetics, and efficacy of ABBV-969 in patients with metastatic castration-resistant prostate cancer (mCRPC). Abstract 5014 presented at the American Society of Clinical Oncology Annual Meeting, 2026. Chicago, Illinois.
2. Byers L, Cho B, Cooper A, et al. ABBV-706 as monotherapy and in combination with budigalimab in patients with relapsed/refractory (R/R) small cell lung cancer (SCLC). Abstract 8008 presented at the American Society of Clinical Oncology Annual Meeting, 2026. Chicago, Illinois.
3. Fleming G, Kurnit K, Pelster M, et al. Phase 1 basket study of telisotuzumab adizutecan (Temab-A, ABBV-400), a c-Met protein-targeting antibody-drug conjugate: Results from patients with platinum-resistant ovarian/primary peritoneal/fallopian tube cancer (PROC). Abstract 5514 presented at the American Society of Clinical Oncology Annual Meeting, 2026. Chicago, Illinois.
4. Villafior V, Harding J, Mahadevan D, et al. Phase 1 basket study of telisotuzumab adizutecan (Temab-A, ABBV-400), a c-Met protein-targeting antibody-drug conjugate: Results from patients with head and



neck squamous cell carcinoma (HNSCC). Abstract 6027 presented at the American Society of Clinical Oncology Annual Meeting, 2026. Chicago, Illinois.

5. Chhabra S, Searle E, Popat R, et al. Etentamig in patients (pts) with relapsed/refractory multiple myeloma (RRMM) with prior exposure to B-cell maturation antigen (BCMA)-targeted therapy. Abstract 7508 presented at the American Society of Clinical Oncology Annual Meeting, 2026. Chicago, Illinois.